

もくじ

1 目次	
2 特集	知っていますか?牛肉のこと ～加古川には牛肉がいっぱい～
7 クローズアップ	「相談して良かった」と感じていただきたい」 無料専門相談員、田中・大村法律事務所 弁護士 田中 陽平 さん
9 会議所のうごき	「令和2年度事業計画・予算を審議 ～臨時議員総会を開催～」 他
9 団体だより	女性会・青年部
11 会議所からのお知らせ	印刷物入札 他
15 事業所紹介	アケミ写真館 代表 丹羽 真平 さん
17 エッセイ	「4つの誕生日を迎えるために」 (株)銀座屋 フェリーチェ事業部 大谷 稔彦 さん
18 所報サービス	潮流を読む 「パンデミックとインフォデミックによる複合的危機」
19 経済指標	但陽信用金庫 「営業地区内お取引企業の景気動向調査レポート」
20 会議所カレンダー	「今月の“こんな日”」

ご覧ください加古川商工会議所のホームページ <http://www.kakogawa-cci.or.jp/>



今月の表紙
『農事組合法人八幡宮農組合』

事業所データ

◆代表者

代表理事 あしはら やすお
芦原 安男

◆所在地

加古川市八幡町船町16

◆電話

079-438-3950

◆ホームページ

<http://www.yahataeinoukumiai.com>

◆表紙写真

- ①私たちが農業を守ります!
(前列左から3番目が芦原代表理事)
- ②畑を耕す力は百万馬力!
- ③6月頃収穫を迎える麦。徐々に新緑が
ら黄金へと色を変えます。
- ④地元農産物を商品化
- ⑤八幡宮農製はこのロゴが目印です

農村環境を守ります！

平成17年5月に発足した八幡宮農組合には、八幡地区642名の組合員が加入、約20名の職員が働いており、農事部と加工・販売部門に分かれ農業の安定と活性を支えています。

「昨今、天候不順や温暖化の影響で、今までのように安定的に農産物を出荷するのも大変になってきています。農業は一朝一夕でできるものではありません。温暖化になったからといってすぐに品種改良が成されるものでもありません。また後継者不足など農業を取り巻く問題には非常に厳しいものがあります。しかし安心・安全をモットーに農村環境を守るため、また地域の活性化のため、自分たちに何ができるのかを考えながらやっています」と語るのは、代表理事の芦原安男さん。

八幡宮農組合は農産物を加工・販売する6次産業にも力を入れており、そばや豆腐・お茶など様々なものを農商工連携を活用して開発し商品化していますが、特に今、組合イチオシなのがパスタ。湿度の高い日本では生育が難しいといわれているデュラム小麦を、研究を繰り返して国産デュラム小麦「セトデュール」の栽培に成功し、純国産デュラム小麦を使った日本初の純国産パスタを「加古川パスタ」として販売しています。「何度も失敗を重ね苦労の繰り返しでした。市場に送り出すまでに6年の歳月がかりでしたが、出来上がったパスタのもちもち感と小麦の香りの高さ、本場イタリアのパスタにも負けていません」と自信を見せます。

最近では、加古川パスタを使ったレシピコンテストを開催し、飲食店のメニューにも加えるなど知名度アップの活動を展開しています。「ふぁ〜みんSHOPや地元スーパーの店頭にも置いてあります。ぜひともご賞味いただきたいですね」と全国初の「初もの」をまずは地元の人たちに食べてほしいと力を込めます。

今後について、「これまで農業は消費者が値段を決める世界でした。でもそれは生産者にとっては非常に厳しく、結果、新しい農機具を買えないから農家をやめざるを得ないというようなこと少なくなありません。私たち組合はその現状に対応し改善の道を作る組合でないといけない。そこで丹精込めて作られた農産物を6次産業によって高付加価値を付けていき、農家を支えていこうと知恵を絞り、研究を重ねています。そして生産者に還元することで地域の農業を守るといふ使命が私たちにあります。長期ビジョンをしっかりと考え、農業を盛り立て、地域活性に繋げていきたいですね」農業の未来を考える芦原さんの言葉に力がこもりました。